

中国安全保障動向（特報：2024年4月26日） 「人民解放軍情報支援部隊の新編」

国家基本問題研究所 研究員 中川真紀

1 はじめに

2024年4月19日、北京で中国人民解放軍情報支援部隊編成完結式が開催され、習近平中央軍事委員会主席が軍旗を授与し訓示を行った。また同日、前身である戦略支援部隊が解組された¹。

これは、2015年から開始された軍改革で戦略支援部隊等が創設されて以来の大規模な組織改革であり、本年3月に開催された全国人民代表大会人民解放軍・武装警察代表団全体会議（以下、軍代会議）で習近平が指示した「新領域の戦略能力向上」のための軍整備の一環である可能性がある。

本レポートでは、情報支援部隊の新編に至るまでの概要を述べたのち、同部隊新編の背景と狙いを明らかにする。



編成完結式での状況

左：畢毅・情報支援部隊司令官

中央：習近平中央軍委主席

右：李偉・情報支援部隊政治委員

2 情報支援部隊新編の概要

(1) 新編までの過程

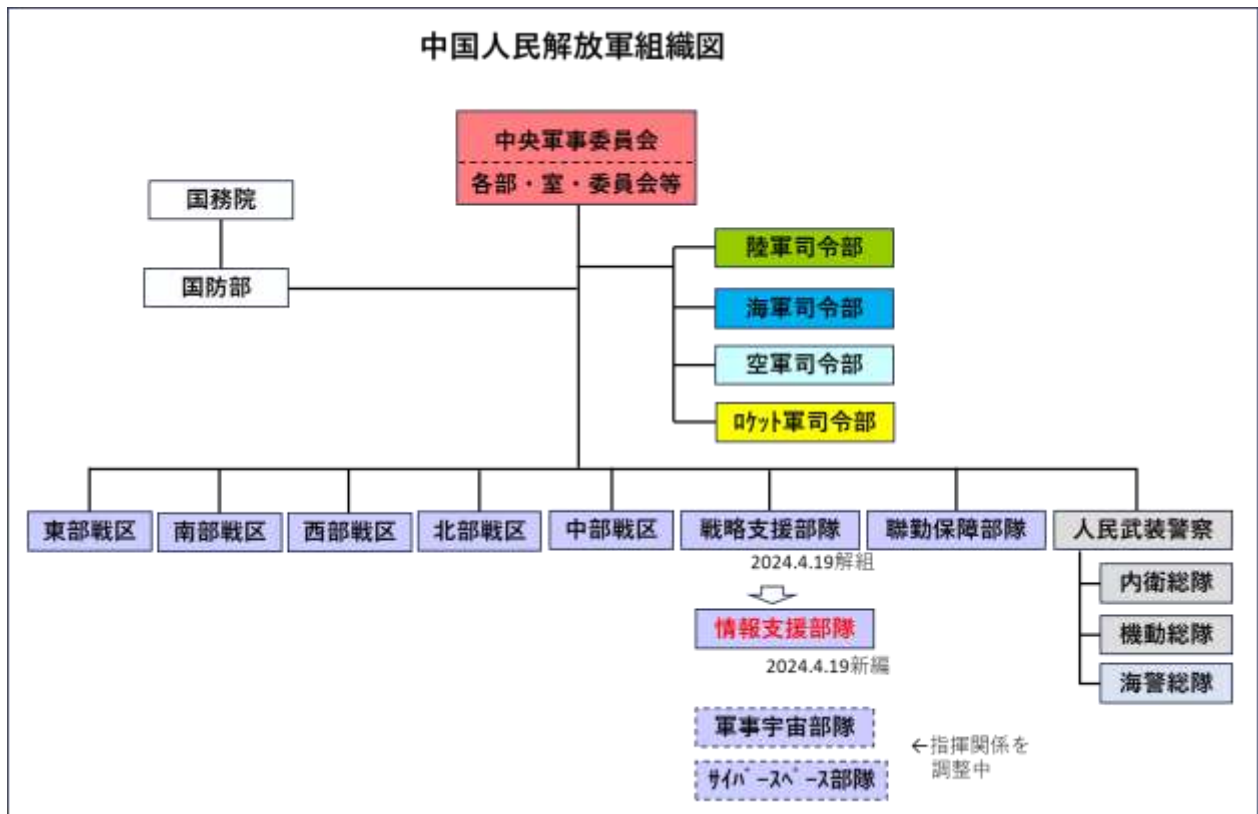
○ 戦略支援部隊の創設

習近平は2013年11月に軍改革を公表し、その嚆矢として、2015年12月31日に戦略支援部隊・陸軍指導機構・ロケット軍を新編した²。

戦略支援部隊は新たに創設された兵種であり、情報・宇宙・サイバー領域における戦略的支援を担当。新たな戦力としてシステム融合・軍民融合を図り、軍の新たな作戦能力の重要な起爆剤として発展するよう期待された。

○ 情報支援部隊の新編

4月19日、情報支援部隊を新編、中央軍事委員会直轄とし、同時に戦略支援部隊を解組した。また、軍事宇宙部隊・サイバースペース部隊も指揮官権を調整中と表明しており、今後人事が整い次第、正式に新編される可能性が大きい。



(2) 情報支援部隊等の任務

習近平の訓示及び国防部報道官記者会見³で示された新編部隊（予定含）の任務は以下の通り。

- 情報支援部隊
情報ネットワークシステムの整備・運用を総括。情報網の維持、情報アセットの融合、サイバー防衛等を全軍の統合作戦システムに融合させ、高精度で効率的な情報支援を実施
- 軍事宇宙部隊
宇宙利用を推進し、宇宙の危機管理・総合的ガバナンスを強化し、宇宙の平和利用に寄与
- サイバー空間部隊
サイバー防護手段を強化し、国家サイバー防壁建設、ネットワーク侵入の発見・防御により国家のサイバー主権と情報の安全に寄与

3 新編の背景と狙い

(1) 戦略支援部隊解組の背景

戦略支援部隊が約8年で解組された背景には、習近平が期待したほどの新たな戦力としての発展がみられず、任務達成不十分と評価された可能性が大きい。その要因は以下の2点が考えられる。

① 担当領域の過多

戦略支援部隊は、情報・宇宙・サイバーを主任務とし、現代戦には不可欠な新領域に属するものの、いずれも専門性が高く、かつ技術革新のスピードに追従する必要がある。これを1コ司令

部で担当するには領域が広すぎ、質・速度ともに期待された成果を十分達成出来なかった可能性がある。

② 汚職腐敗による任務達成への悪影響

戦略支援部隊の任務は、軍民融合を期待されていたように、民間企業との関りが大きく、他部隊と比較して汚職が蔓延しやすい体質と言えた。今回の編成完結式における習近平の訓示でも、情報支援部隊としての任務達成と同時に、党への絶対忠誠・規律の厳守・秩序の保持等が特に強調されている。

人民解放軍においては昨年からロケット軍や装備部門を対象とした汚職関連の罷免・調査が実施されていると報道も見られ、戦略支援部隊でも同様に汚職が任務達成に悪影響を与えた可能性がある。

(2) 情報支援部隊新編の狙い

新編の狙いとしては、

- ① 情報・宇宙・サイバーの3コ部隊に分割し、専門性及び技術対応のスピードを向上
- ② 上層部への権益集中を排除し汚職防止、かつ中央軍事委員会直轄と明示し、監視を強化
- ③ 新編により、新領域における戦略能力強化に邁進できる体制を整備

が考えられる。①、②はこれまでの阻害要因の排除であり、目指すところは③であろう。

習近平は3月の軍代会議で、下表の議題等が示すように、今年の軍整備の最重要事項として「新領域における戦略の雨量の向上」を指示した。

【2024年3月全人代軍代会議での議題等】⁴

習主席の重要講話	軍・武装警察代表の発表テーマ
① 使命の自覚を強化し、改革刷新を深化	① 海洋状況把握能力構築
② 新領域における戦略能力の向上	② ネット空間防御能力向上
	③ AIの活用推進
	④ 宇宙資源の統一計画・管理・使用の強化
	⑤ 新領域の標準汎用化の強化
	⑥ 無人作戦能力構築と運用の刷新

発表テーマのいずれをとっても、情報・宇宙・サイバーが関連する分野である。

本年から、情報支援部隊と今後新編予定の軍事宇宙部隊・サイバースペース部隊をもって新領域への対応を本格的に開始するため、組織改編を実施した可能性がある。

5 まとめ

軍改革の目玉事業の一つであった戦略支援部隊を僅か8年余りで解組したことは、任務達成不十分な組織に対する厳しい姿勢を示すと共に、新領域への対応が今後の軍事力整備の最重要事項であるという習近平の意思を軍内外に宣言したと言える。

今後は中央軍事委員会、すなわち習近平の指導の下、人民解放軍は新編部隊をもって新領域での能力向上に邁進し、その質・速度はこれまで以上に向上する可能性がある。

参考文献

- 1 国防部 HP20240419
http://www.mod.gov.cn/gfbw/sy/tt_214026/16302017.html
- 2 人民網 20160102
<http://politics.people.com.cn/n1/2016/0102/c1024-28003584.html>
- 3 国防部 HP20240419
<http://www.mod.gov.cn/gfbw/qwfb/16302072.html>
- 4 「解放軍報」 2024.3.8
http://www.81.cn/szb_223187/szbxq/index.html?paperName=jfb&paperDate=2024-03-08&paperNumber=01&articleid=926623&tsryetnbweq